

昭和53年度

42億8120万

ことしの予算は、長びく不況化の中の市民の暮らしを守るため、(1)市民の暮らしの周辺の環境整備 (2)市民の福祉と健康を守り高める (3)教育と文化の充実の三項目を柱として、一般会計では四十二億八千二百二十万円を組みました。これは、前年度に比べ二億千八百万円五・二%の増となっています。

暮らしの環境整備

市民をとりまく暮らしの周辺の環境整備は、市民が生活していくうえで、また市の発展のためにも非常に重要なことなので積極的に整備をはかる。



- ▷ 道路舗装・改良 3,118万円
- ▷ 河川の整備 6,770万円
- ▷ 歩道新設・カーブミラー・ガードレール等の設置 1,654万円
- ▷ 都市排水管改修 500万円
- ▷ 新田上手踏切の改良・撤去 3,300万円
- ▷ 公園・緑地の整備 2,177万円



民生費

12(億円) 10

水道会計

水道事業の経営面では二・三%を占めています。事業収益は前年度に比べ二千三百六万円、六・六%増の三億七千四百四十万円増の三億七千四百四十万円を組みました。このうち給水収益(水道料)は三億八百万円で八千六百六十二万円の赤字が見込まれ、年度末には繰越欠損金は約九千万円になると予測され、非常に厳しい状況にあります。事業では、昨年度から継続の第二浄水場改良工事など、各施設の維持補修を行います。



国保会計

国民健康保険事業では六億九千五百九十二万円を組みました。これは、前年度と比べ一億六千六百三十三万円、一八%の増となっています。予算総額の約九四%を占める保険給付費のうち六億九千五百九十二万円の療養給付費は、医療費の改定などにより、前年度に比べ二〇%増加していますが、今後、療養給付費が上昇すればするほど、国保財政は圧迫され苦しくなります。



下水道会計

住みよいまちづくりの基幹となる公共下水道事業は、本年度から特別会計となり、本年度から新設の下水道事業は五か年目に入り、工事も順調に進んでいます。桂川右岸流域下水道の整備状況によつては、五十四年度中にも一部通水・供用開始が予定されています。



- ▷ 防火水槽の改良など・消防水利の充実 1,240万円
- ▷ 救急自動車の更新、消防装備の充実 320万円
- ▷ 街路灯の新設、改修、維持管理 612万円
- ▷ 交通指導員制度の充実 178万円



- ▷ し尿くみとり委託料 1億2,345万円
- ▷ 可燃物・不燃物ゴミ収集委託料 7,204万円
- ▷ 乙訓環境衛生組合負担金 1億円
- ▷ 小規模農道整備 250万円
- ▷ 生産緑地奨励費 169万円



- ▷ 生産者組合・農業研究会などに補助 263万円
- ▷ 小規模かんがい排水・老朽ため池改修整備 650万円
- ▷ 商工連合会活動費・商工会館の維持管理など 230万円
- ▷ 中小企業に対する振興資金の融資 1,702万円



- ▷ 駅前整備に関する基本調査 300万円
- ▷ 市民憲章の推進、無料法律相談広報紙を月2回に 1,069万円
- ▷ 自治会の振興とコミュニティの促進 1,061万円
- ▷ 新しいふるさとづくりテーマに「向日まつり」 200万円



教育と文化

人間性豊かな文化都市をめざし、化水準の向上、市民の体育活動の増進・環境の整備充実をはかる。



- ▷ 第4向陽小学校屋内運動場の買取り 8,797万円
- ▷ 小学校施設の整備 984万円
- ▷ 教材備品の充実 1,070万円
- ▷ 卒業・入学記念品料 94万円
- ▷ 修学旅行・遠足補助 510万円
- ▷ 障害児児童扶助 235万円
- ▷ 特殊教育就学補助 42万円



- ▷ 幼稚園就園奨励費補助 2,383万円
- ▷ 幼稚園児への教材費補助 1,139万円
- ▷ 高齢者教室・婦人学級・人形劇などの充実 304万円
- ▷ 婦人会・子ども会などの育成 166万円



<p>農林水産業費 942円 (3,148円)</p>	<p>労働費 922円 (3,081円)</p>	<p>衛生費 10,529円 (35,190円)</p>	<p>民生費 21,710円 (72,556円)</p>	<p>総務費 13,992円 (46,763円)</p>	<p>議会費 2,258円 (7,546円)</p>
<p>諸支出金・予備費 120円 (403円)</p>	<p>公債費 8,759円 (29,271円)</p>	<p>教育費 13,413円 (44,828円)</p>	<p>消防費 4,420円 (14,770円)</p>	<p>土木費 8,811円 (29,445円)</p>	<p>商工費 897円 (2,997円)</p>